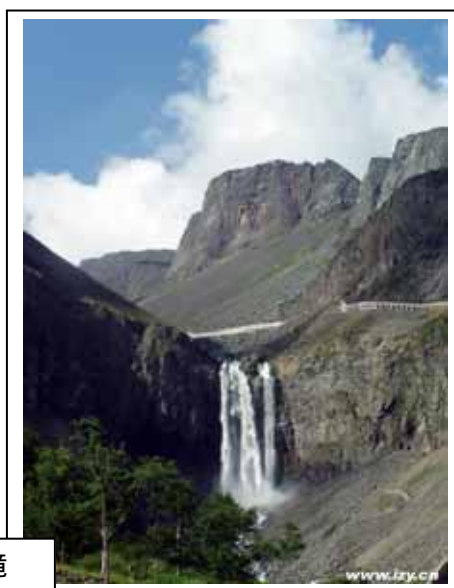


日本への留学

私が日本語に初めて出会ったのは中学校一年生のときです。その時から数えたら、日本語の勉強を始めてからもう 15 年以上経ちました。「あ、い、う、え、お」から始めた日本語、ひらがなの 50 音だけで成立っているのかと思いましたが、次々と漢字や片仮名まで出てきました。長い文章の中ででてくる漢字にはふりがなが振られていません。一つの単語を覚えるのに「漢字、ふりがな、その意味」三通りを一週に覚えなければなりません。そのうえに、片仮名とややこしい文法も加わり、決して楽ではありませんでした。でも、厭きることなく続けていきました。中学校の時の日本語の先生が優しくておもしろかったお陰もあったと思います。中学校二年生の時に、「言語の勉強はその国が一番」だと思い、いつかは日本に留学しようと決めました。日本語は私が高校を卒業するまでの得意な科目でもありました。高校卒業後、短大に入り日本語の勉強はしばらく中断されてものの、卒業を控えていたときに、チャンスが訪れて日本に留学しました。最初は「一人娘を外国に行かせるまい」と反対していた両親も私を理解してくれました。留学当時には、5 年後は勉強も終えて帰国するだろうと思っていましたが、もう 5 年の歳月は経ち、あとすこしで二回目の 5 年を迎えようとしています。でも、私が今まで日本にいたからこそロータリーの皆様と出会えることができました。皆様との一年間は私にとって一生の宝物になるはずです。ロータリーの皆様には心から感謝しております。



長白山 天池 夏



長白山 天池 滝